※令和４年度以降入学生用

学校番号	3033

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説世界史」　（山川出版社）						
副教材等	「最新世界史図説　タペストリー　二十一訂版」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・様々な歴史的事象について様々な立場から考え、「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・歴史的事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、構想したことを説明・議論したりする力を身に付ける。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古代文明の成立	・文明の誕生 ・古代オリエント文明とその周辺 ・南アジアの古代文明 ・中国の古代文明 ・南北アメリカ文明	a:オリエント文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解している。 b:古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:「古代文明の出現」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	内陸・南・東南・東アジア世界の形成と展開	・中央ユーラシア ・秦・漢帝国 ・中国の動乱と変容 ・東アジア文化圏の形成 ・仏教の成立と南アジアの統一国家 ・インド古典文化とヒンドゥー教の定着 ・東南アジア世界の形成と展開	a:　東南アジアの基層文化の上に交易網が発達し，港市国家が形成されていく過程について，諸資料から読み取り，理解している。秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 b:　各地アジアの国家や社会がどのような特徴をもっているかなどについて多面的・多角的に考察し，表現している。 c:「東アジアと中央ユーラシア」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	オリエントと地中海世界	・イラン諸国家の興亡とイラン文明 ・ギリシア人の都市国家 ・ローマと地中海支配 ・キリスト教の成立と発展	a:　西アジアと地中海周辺の諸国家，キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に，西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 b:キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴について主題を設定して考察し，表現している。 c:　古代ギリシアとローマ帝国の共通点と相違点についての自らの学習を振り返り，学びを深めている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	イスラーム世界の形成と発展	・アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ・ヨーロッパ世界の形成 ・イスラーム諸地域への伝播 ・西アジアの動向	a:イスラーム世界には複数の王朝が並存していたことや神秘主義教団について，諸資料から読み取り，理解している。 b:諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，諸地域へのイスラームの拡大の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:イスラーム世界の拡大と繁栄についての自らの学習を振り返り，学びを深めている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	ヨーロッパ世界の形成と展開	・西ヨーロッパの封建社会とその展開 ・東ヨーロッパ世界の展開 ・西ヨーロッパ世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化	a:　ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b:　西ヨーロッパの封建社会はどのような背景で成立し，東ヨーロッパの民族・国家・宗教はどのように結びついたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:　中世ヨーロッパ社会の展開と成熟についての自らの学習を振り返り，学びを深めている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	東アジア世界の展開とモンゴル帝	・アジア諸地域の自立化と宋 ・モンゴルの大帝国	a:　中華世界の変容とモンゴル帝国について概念的に理解している。 b:モンゴル帝国はどのようにして大帝国へと発展したのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:「中華世界の変容とモンゴル帝国」の内容に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

2学期	大交易・大交流の時代とアジア諸帝国の繁栄	・アジア交易世界の興隆 ・ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 ・オスマン帝国とサファヴィー朝 ・ムガル帝国の興隆 ・清代の中国と隣接諸地域	a：大交易時代のアジア社会について、また 16 世紀から 18 世紀にかけてのアジアの諸帝国について概念的に理解している。 b：諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している c：大交易時代のヨーロッパ社会と世界の一体化についての自らの学習を振り返り，学びを深めている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	近世ヨーロッパ世界の動向	・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・オランダ・イギリス・フランスの台頭 ・北欧・東欧の動向 ・科学革命と啓蒙思想	a：宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 b：地球規模での交易の拡大について，主題を設定して考察し，表現している。 c：主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	近代ヨーロッパ世界の展開	・産業革命 ・アメリカ合衆国の独立と発展 ・フランス革命とナポレオンの支配 ・中南米諸国の独立	a：産業革命と環大西洋革命，自由主義とナショナリズム，南北戦争の展開などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 b：北アメリカの政治変革によって，どのような権利が獲得され，権利が認められなかったのはどのような人々だったのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：資本主義体制の確立と社会の変容について、社会問題・労働問題と関連付けて考察し、文章にまとめられている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	欧米における国民国家の形成	・ウィーン体制とヨーロッパ政治社会の変動 ・列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ・アメリカ合衆国の展開 ・19 世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	a：南北戦争とアメリカ合衆国の拡大，独立後のラテンアメリカ社会と文化について，諸資料から読み取り，理解している。 b：1848年にヨーロッパ諸国でおこった出来事の背景と，それによって明らかになった課題はどのようなものだったのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：ヨーロッパ諸国における国民意識の高まりと覇権競争がどのような結果をもたらしたのかについてまとめられている。	定期考査	定期考査 提出物	
	アジア諸地域の動揺と帝国主義	・西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動 ・第二次産業革命と帝国主義 ・列強の世界分割と列強体制の二分化 ・アジア諸国の変革と民族運動	a：国際的な分業体制と労働力の移動，イギリスを中心とした自由貿易体制，アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に，世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。 b：アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行について，主題を設定して考察し，表現している。 c：世界市場の形成とアジア諸国の変容についての自らの学習を振り返り，学びを深めている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
3学期	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊 ・第二次世界大戦 ・新しい国際秩序の形成	a：第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について，また国際協調体制の動揺について概念的に理解している。 b： 開戦時点で短期戦が予想された大戦は，なぜ，どのように長期化したのかについて，また，世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き，世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点，ファシズムの特徴，第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：第二次世界大戦と戦後秩序構想についての自らの学習を振り返り，学びを深めている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	冷戦と第三世界の台頭	・冷戦の展開 ・第三世界の台頭とキューバ危機 ・冷戦体制の動揺	a：集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，先進国の経済成長と南北問題，原子力の利用などを基に，紛争解決の取り組みと課題，格差の是正の取り組みと課題，知識基盤社会の展開と課題を理解している。 b：冷戦の世界化と国際制度について，主題を設定して考察し，表現している。 c：独立国となったアジア・アフリカ諸国はどのような課題に直面し，また，これらの国家の出現は国際社会にどのような影響を与えたのかについて考察し，文章にまとめている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	冷戦の終結と今日の世界	・産業構造の変容 ・冷戦の終結 ・今日の世界 ・現代文明の諸相	a：新興国の台頭と国際秩序，アメリカの覇権の動揺，地域統合問題，中東の情勢，中国の台頭とアジア・太平洋地域について，諸資料から読み取り，理解している。 b：冷戦は米ソ間やヨーロッパではどのように終結したのか，また，ほかの各地域での冷戦は終結したのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：冷戦の変容・終結と経済のグローバル化についての自らの学習を振り返り，学びを深めている。	提出物	提出物	提出物

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度